



毎日、発明する会社

2020年4月期

通期決算説明資料

フリービット株式会社

2020年6月19日

1. 2020年4月期 通期連結業績 . . . 3
2. 2020年4月期 通期セグメント別業績及び事業進捗 . . . 17
3. 新型コロナウイルス感染症の影響 . . . 28
4. 中期事業方針『SiLK VISION 2020』総括 . . . 30
5. 2021年4月期 連結業績予想 . . . 34

## 略称について

略称	社名及び説明
FB	フリービット(株)=当社
FBG	フリービットグループ
ALC	(株)アルク=完全子会社
DTI	(株)ドリーム・トレイン・インターネット=完全子会社
FBEPH	(株)フリービットEPARKヘルスケア=子会社
FBEPHG	フリービットEPARKヘルスケアグループ
FBI	フリービットインベストメント(株)=完全子会社
BI	(株)ベッコアメ・インターネット=完全子会社
FS	(株)フルスピード=東証二部上場の子会社
FSG	フルスピードグループ
FI	(株)フォーイット=(株)フルスピードの完全子会社
CR	(株)クライド=(株)フルスピードの完全子会社
FSL	(株)フルスピードリンク=(株)フルスピードの完全子会社

略称	社名及び説明
GP	(株)ギガプライズ=名証セントレックス上場の子会社
GPG	ギガプライズグループ
FM	(株)フォーメンバーズ=(株)ギガプライズの子会社
SV	(株)ソフト・ボランチ=(株)ギガプライズの完全子会社
GT	(株)ギガテック=(株)ギガプライズの完全子会社

略称	セグメント名
Infra	インフラテック事業
RET	不動産テック事業
ADT	アドテック事業
HT	ヘルステック事業
ET	エドテック事業

# 1. 2020年4月期 通期連結業績

---

(単位：百万円)	20年04期 通期	19年04期 通期	増減額	増減率
売上高	<b>55,295</b>	50,365	+4,929	9.8%
EBITDA	<b>4,638</b>	4,691	△52	△1.1%
営業利益	<b>2,587</b>	2,981	△393	△13.2%
経常利益	<b>2,481</b>	2,569	△88	△3.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	△ <b>619</b>	279	△898	—
1株当たり純利益	△ <b>27円93銭</b>	12円59銭	△40円52銭	—

**2020年4月期通期連結業績は、不動産テック事業のマンションインターネット売上増及びエドテック事業通期取り込みにより、売上高は8期連続増収で前期比9.8%増**

- ・売上高：不動産テック事業の拡大及びエドテック事業通期取り込みにより増収
- ・営業利益：エドテック事業の既存事業減少及びデジタル領域への事業転換の遅延に加えアドテック事業利益減等により前期比13.2%減
- ・経常利益：営業利益減により前期比3.4%減
- ・親会社株主に帰属する：経常利益減及び特別損失の計上により前期比898百万円減  
当期純利益

## ■ 新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた事業

事業セグメント	影響
ヘルステック事業	FBの介護事業者向けサービスにおけるシステム導入延期
エドテック事業	海外研修をはじめとする企業向け研修事業の受注が最需要期を迎える前に急減

## ■ 2020年4月期に計上する主な特別損失

(単位：百万円)	金額	内訳
特別損失	172	不動産テック事業における事業用資産の減損
	227	ヘルステック事業におけるのれん等の減損
	752	エドテック事業における事業用資産の減損
	157	エドテック事業におけるソフトウェア資産の減損



連結業績

- ・売上高は、不動産テック事業の拡大及びエドテック事業通期取り込みにより前期比9.8%増で8期連続増収及び過去最高実績を達成
- ・営業利益は、エドテック事業の既存事業減少及びデジタル領域への事業転換の遅延に加えアドテック事業利益減等により前期比13.2%減



インフラテック事業

- ・クラウドサービス売上増により増益
- ・トーンモバイル事業をCCCグループより承継
- ・アルプスアルパイン(株)と連携し、CASE/MaaS市場への取り組みを加速



不動産テック事業

- ・マンションインターネットが牽引し前期比売上高25.2%増、セグメント利益17.0%増を達成



ヘルステック事業

- ・FBEPHの成長により売上高は順調に推移し前期比17.4%増
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるFBヘルステック事業売上減や販管費増等によりセグメント損益△144百万円となるも、FBEPHの順調な事業進捗及び不採算事業の整理等により、セグメント損益は3Q-4Q会計期間で黒字を達成

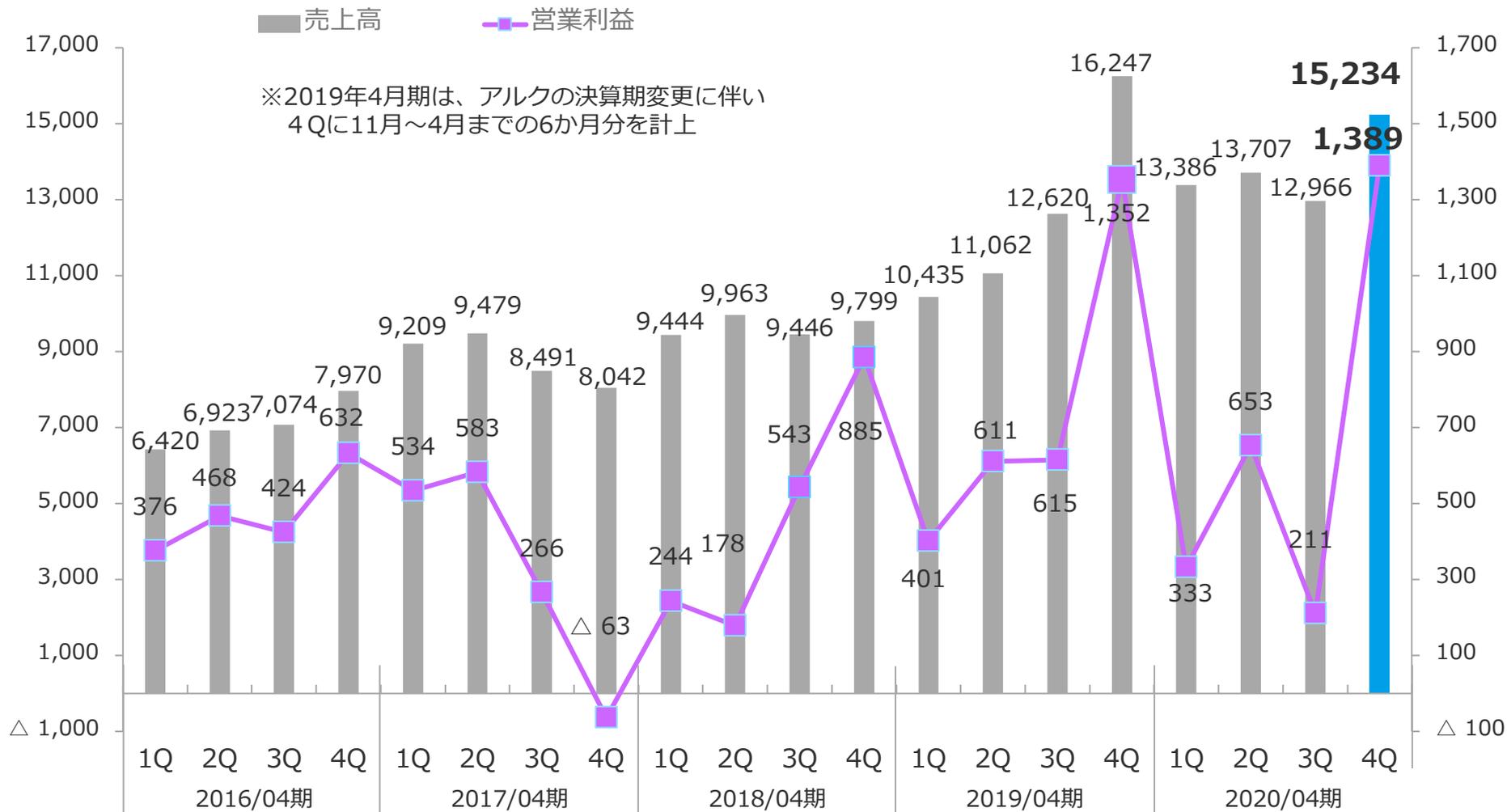


エドテック事業

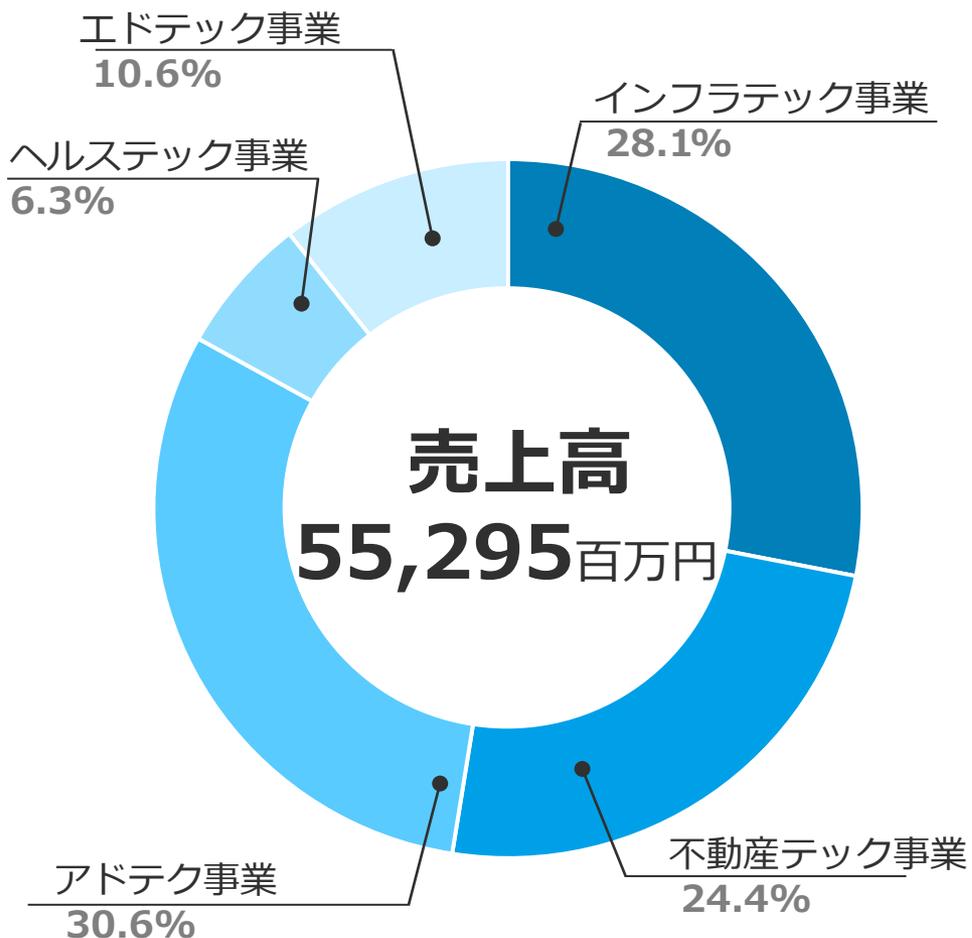
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4Qに見込んでいた売上が急減したことに加え、デジタル領域への事業転換の遅延により減益

## 新型コロナウイルス感染症拡大の影響も、不採算事業の整理及び新サービス販売により四半期営業利益は過去最高を達成

(単位：百万円)



## 不動産テック事業の拡大が増収を牽引

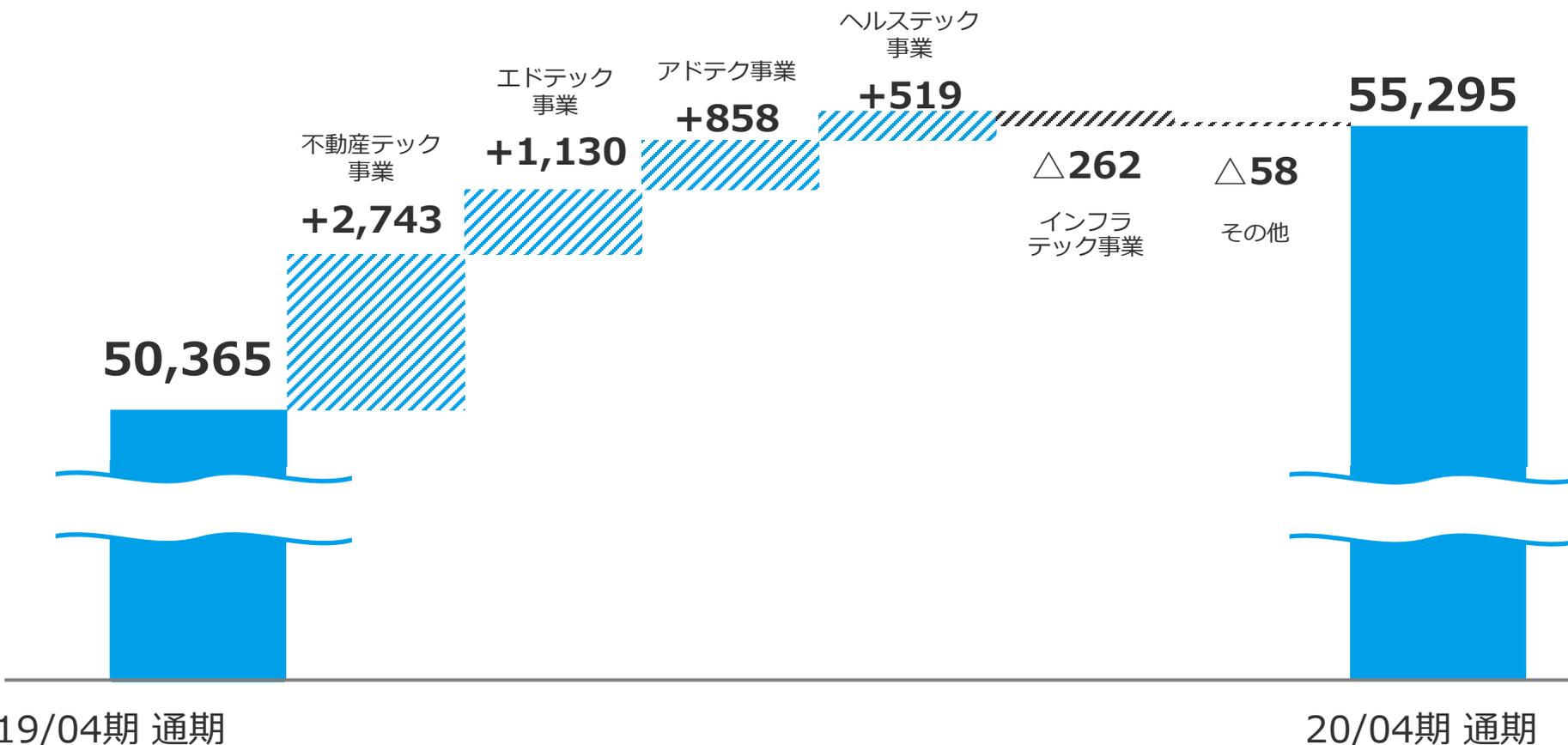


売上高	セグメント損益
<b>インフラテック事業</b>	
15,705 百万円 YoY $\Delta$ 1.6%	856 百万円 YoY +4.3%
<b>不動産テック事業</b>	
13,648 百万円 YoY +25.2%	1,356 百万円 YoY +17.0%
<b>アドテク事業</b>	
17,081 百万円 YoY +5.3%	873 百万円 YoY $\Delta$ 16.3%
<b>ヘルステック事業</b>	
3,513 百万円 YoY +17.4%	$\Delta$ 144 百万円 YoY +164百万円
<b>エドテック事業</b>	
5,907 百万円	$\Delta$ 368 百万円

※エドテック事業については、事業開始が前第3四半期のため前年との比較は省略

不動産テック事業の拡大及びエドテック事業通期取り込みによる売上増により前期比9.8%増で8期連続増収及び過去最高実績を達成

(単位：百万円)

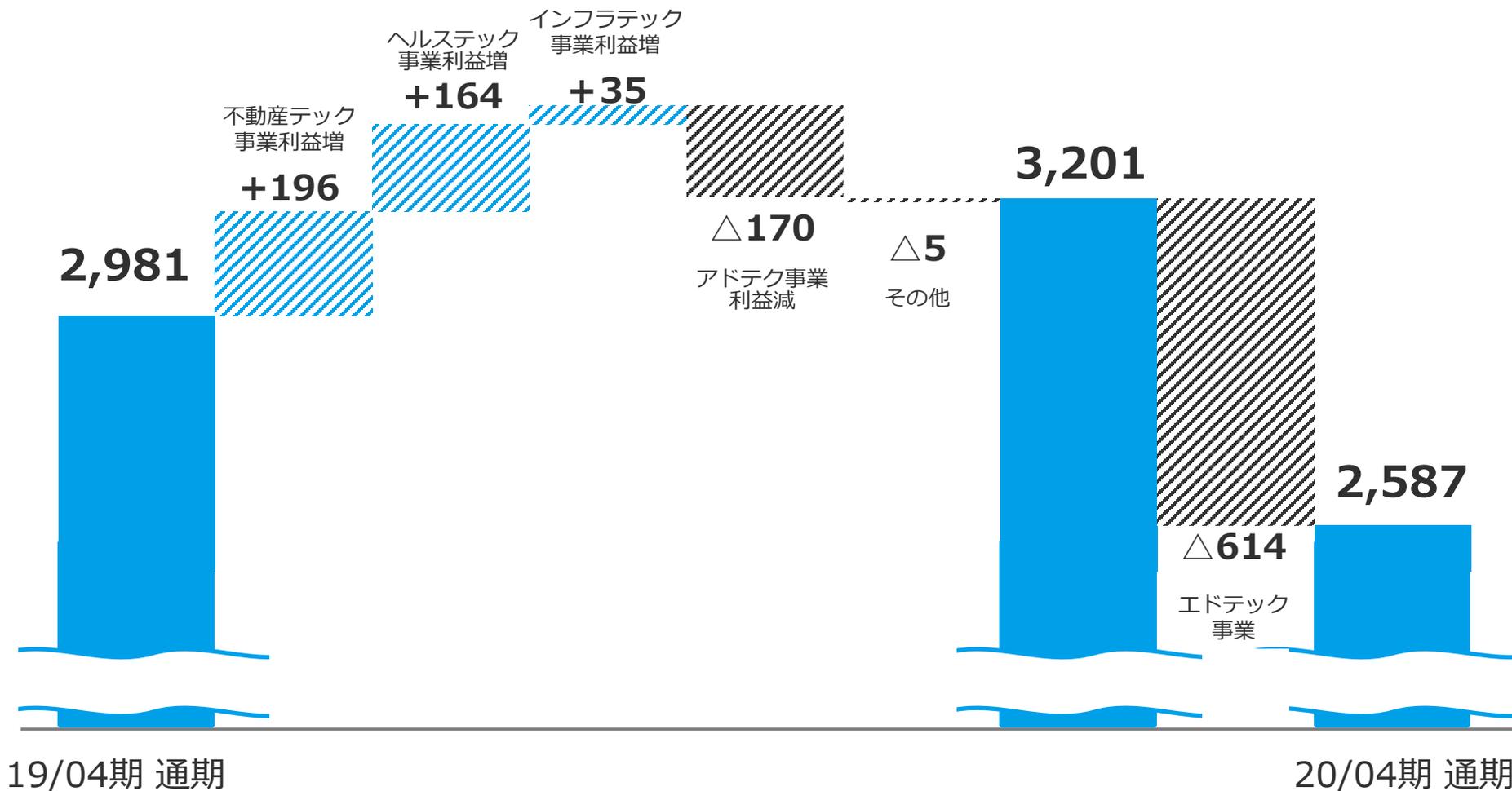


19/04期 通期

20/04期 通期

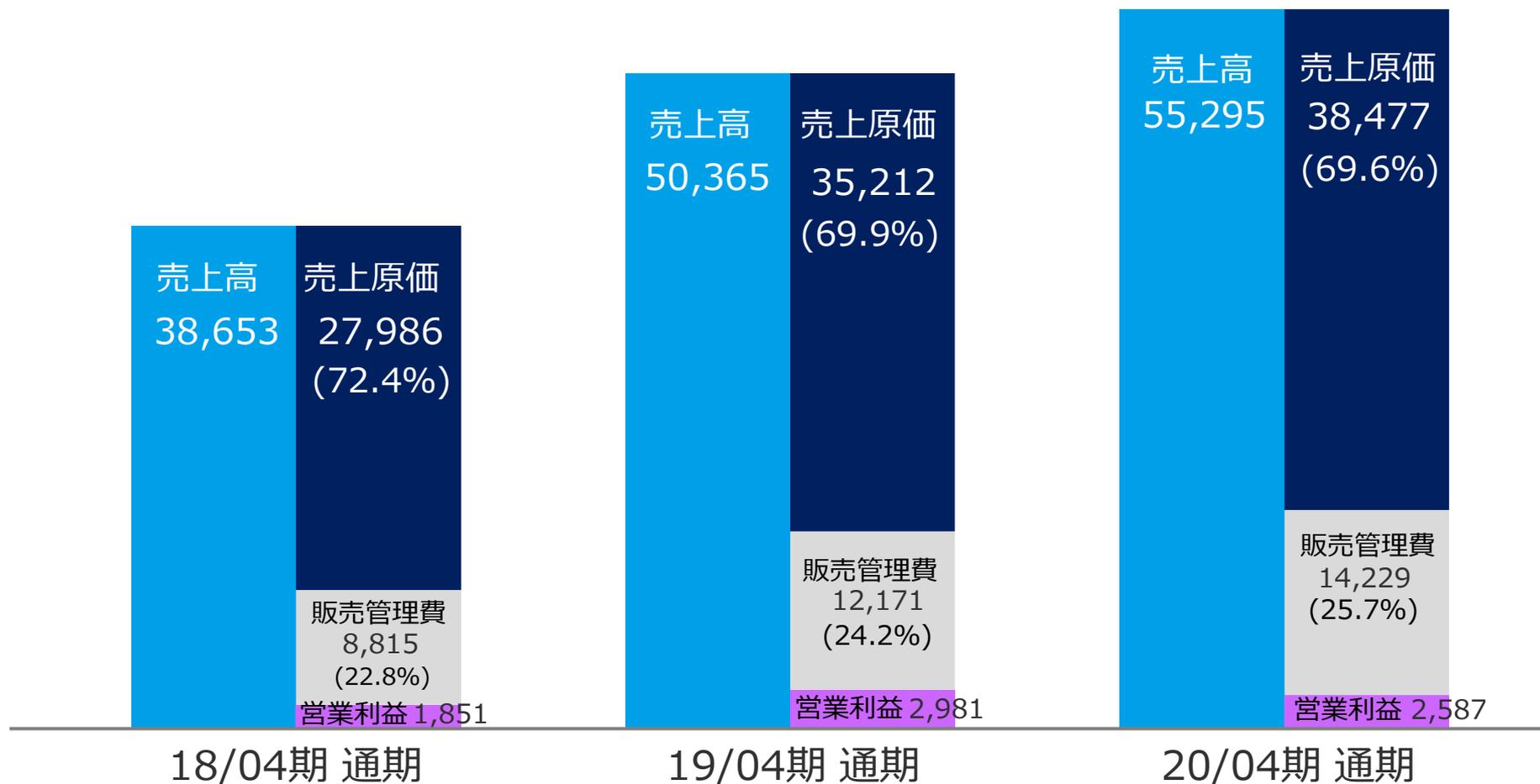
エドテック事業の既存事業減少及びデジタル領域への事業転換の遅延に加え、アドテック事業利益減等により前期比13.2%減

(単位：百万円)



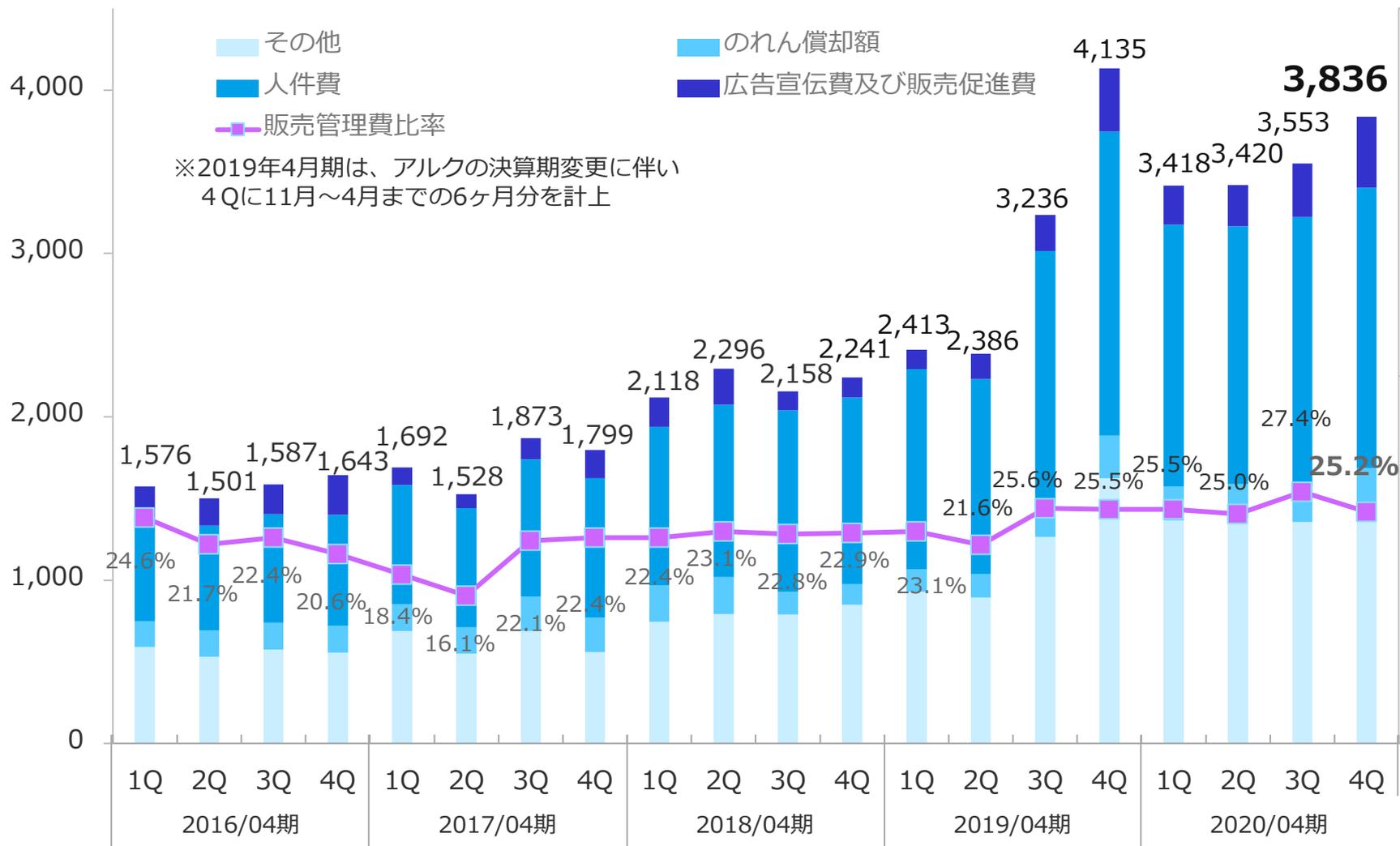
## 事業拡大に伴い売上高増

(単位：百万円)



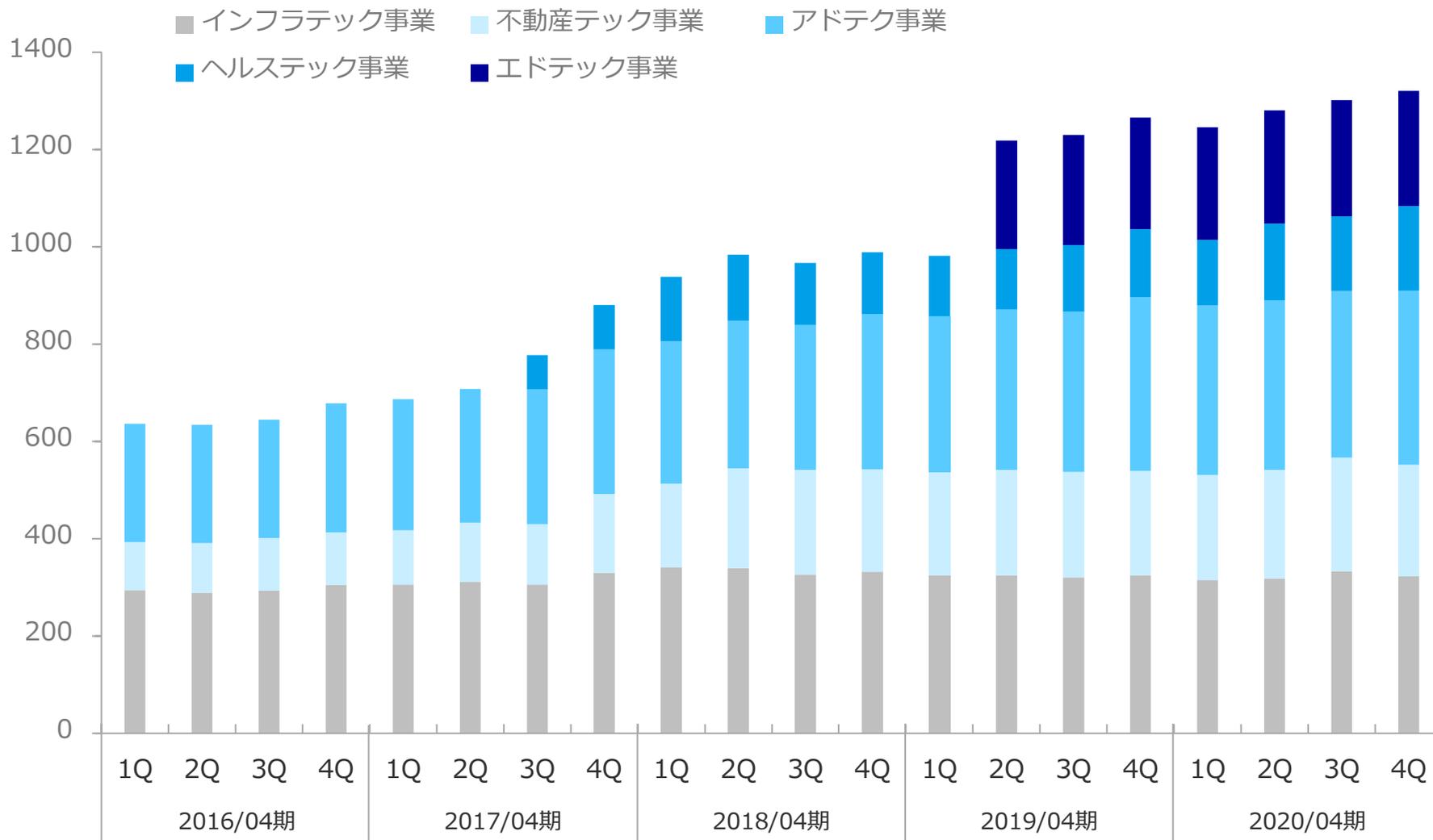
## トーンモバイル事業承継に伴い、人件費及び広告宣伝費増

(単位：百万円)



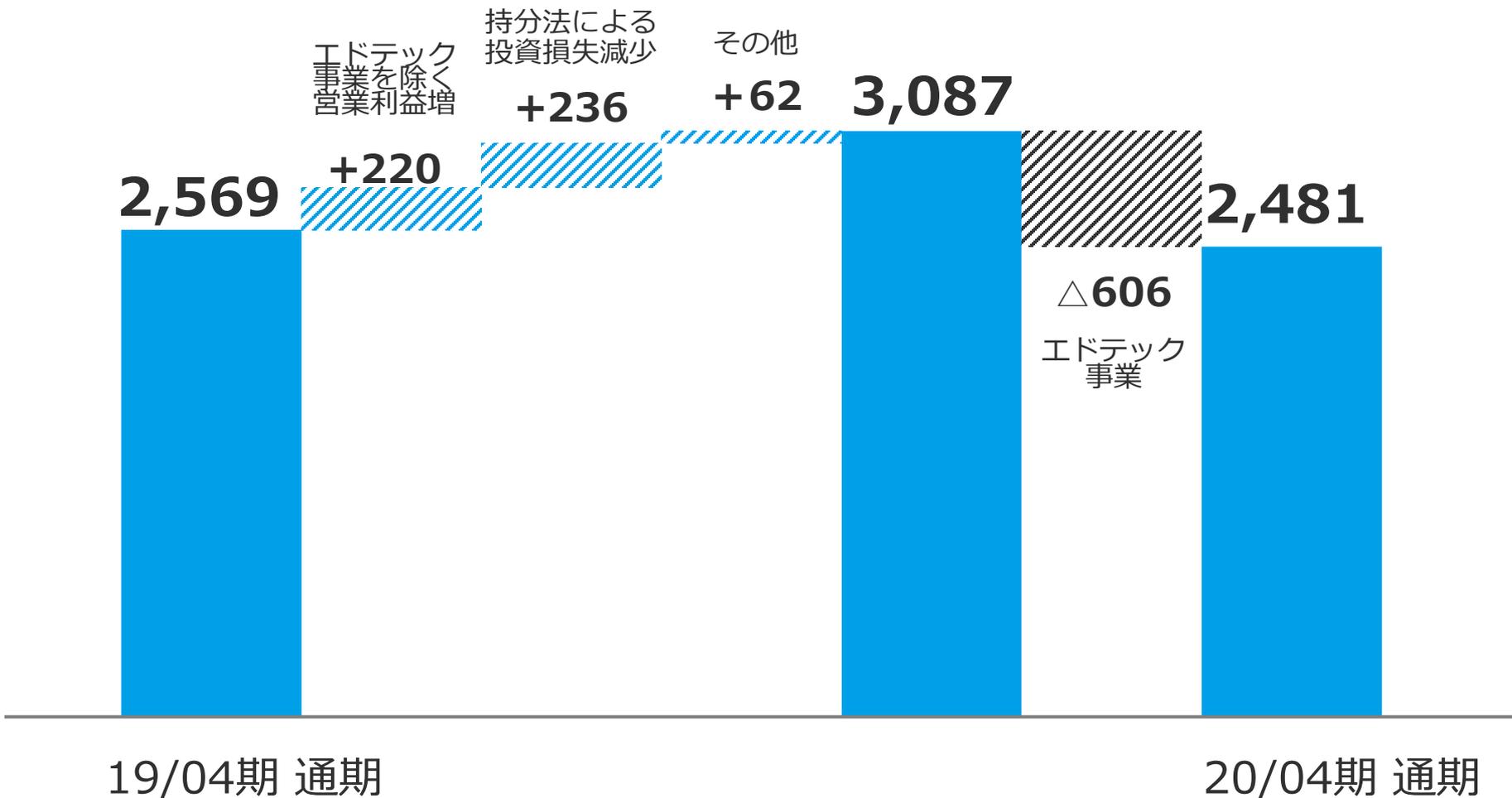
## トーンモバイル事業承継に伴い、従業員数は微増

(単位：人)



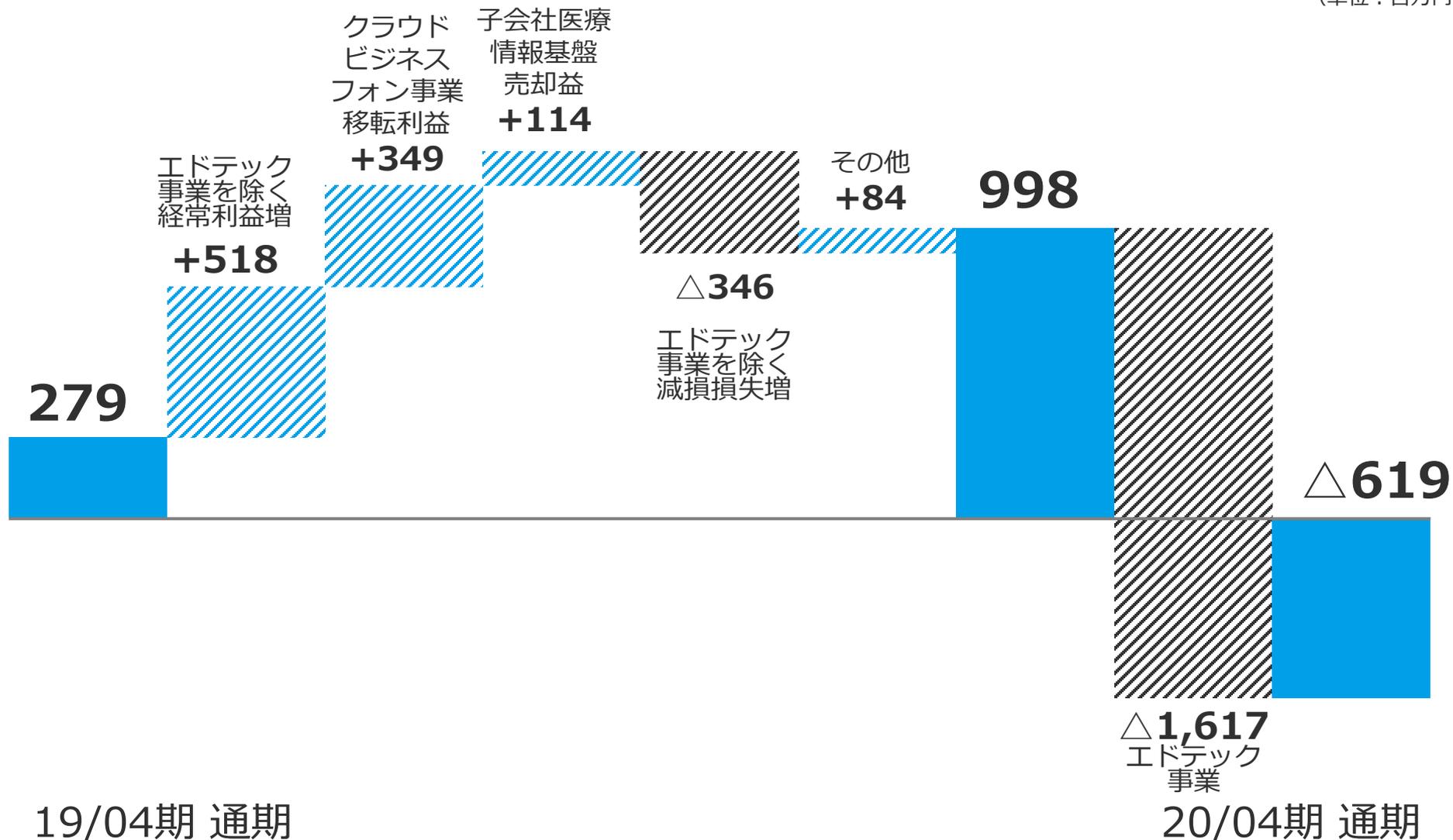
## エドテック事業の営業利益減により前期比3.4%減

(単位：百万円)



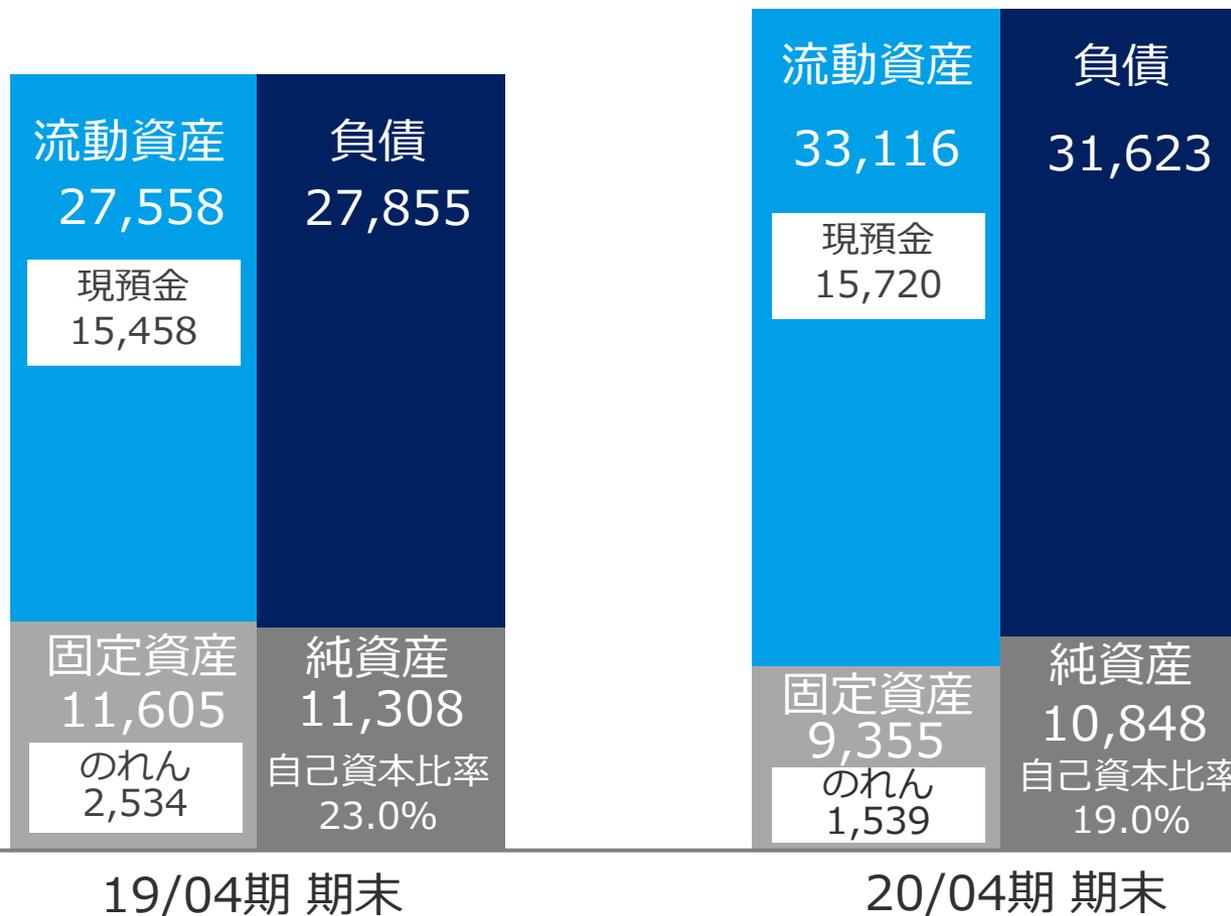
## エドテック事業の損失計上により前期比898百万円減

(単位：百万円)



## 新サービス開始による取引高増により流動資産増

(単位：百万円)



## 2. 2020年4月期 通期セグメント別業績及び事業進捗

---

## 前期比 売上高1.6%減、セグメント損益4.3%増

クラウドサービス売上増により増益

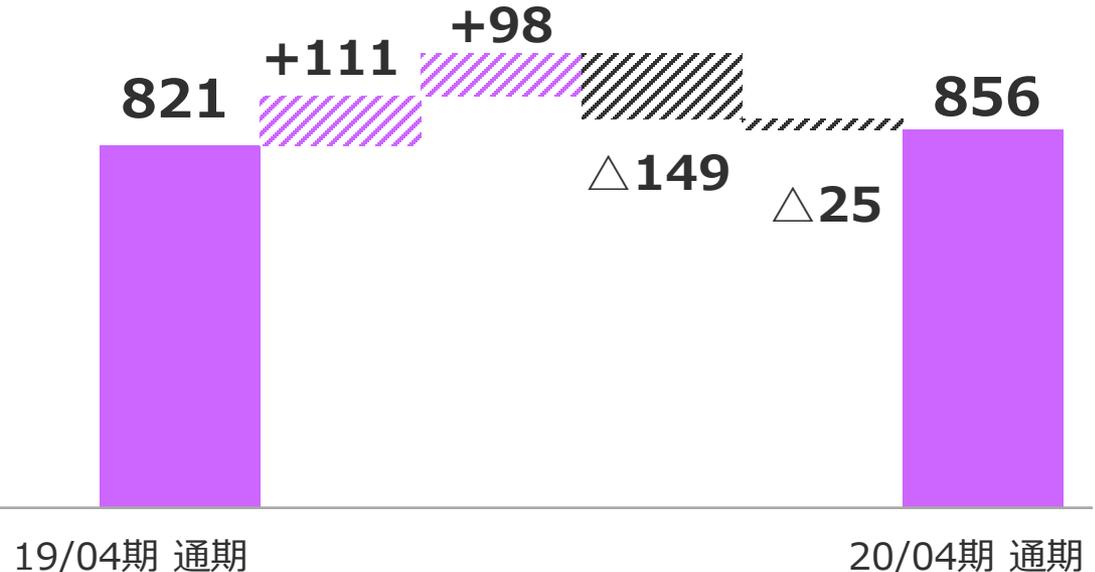
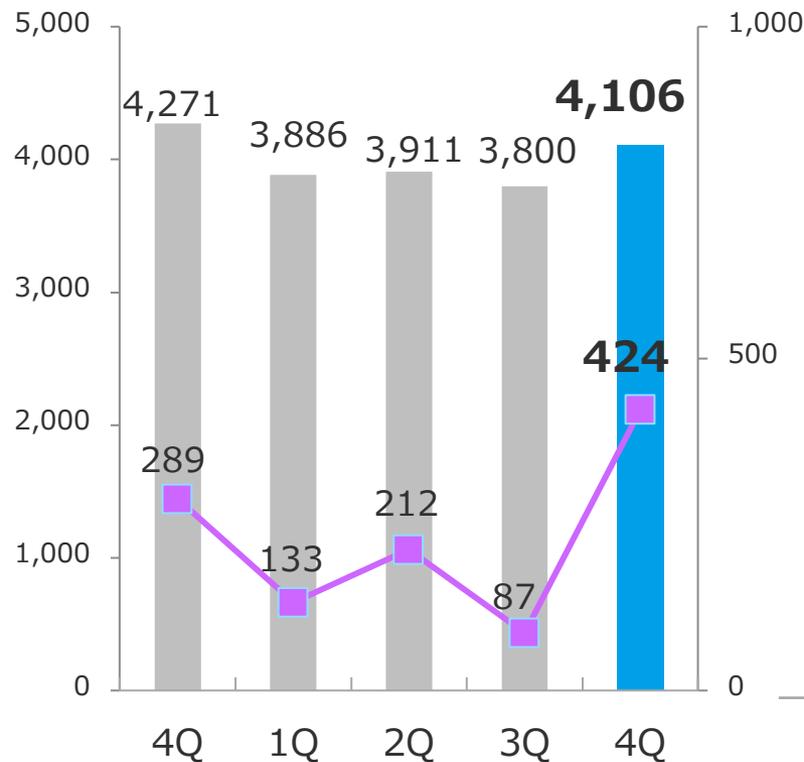
(単位：百万円)

### 売上高・セグメント損益

### セグメント損益前期比差異分析

■売上高 ■セグメント損益

- +111** クラウド売上増による利益増
- +98** モバイル費用減等による利益増
- △149** 固定網利益減等
- △25** その他



## 前期比 売上高25.2%増、セグメント利益17.0%増

マンションインターネットの堅調な推移により増収増益

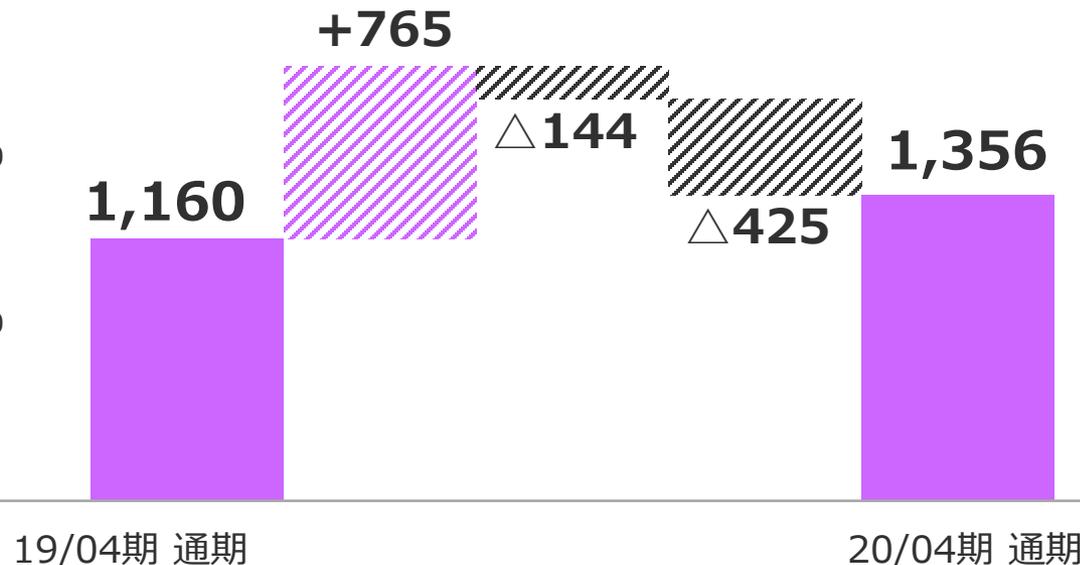
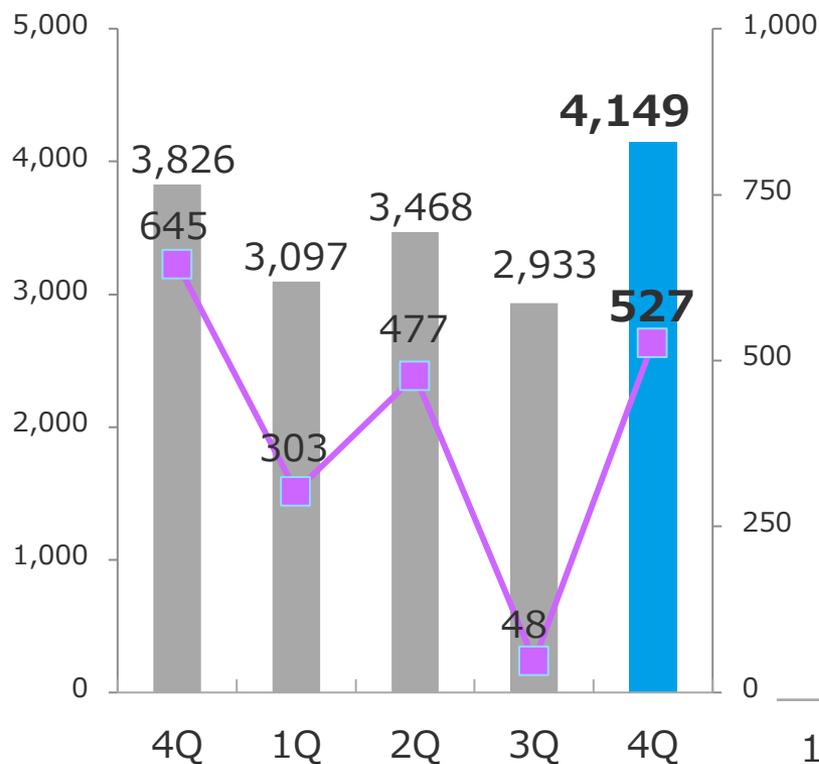
(単位：百万円)

### 売上高・セグメント損益

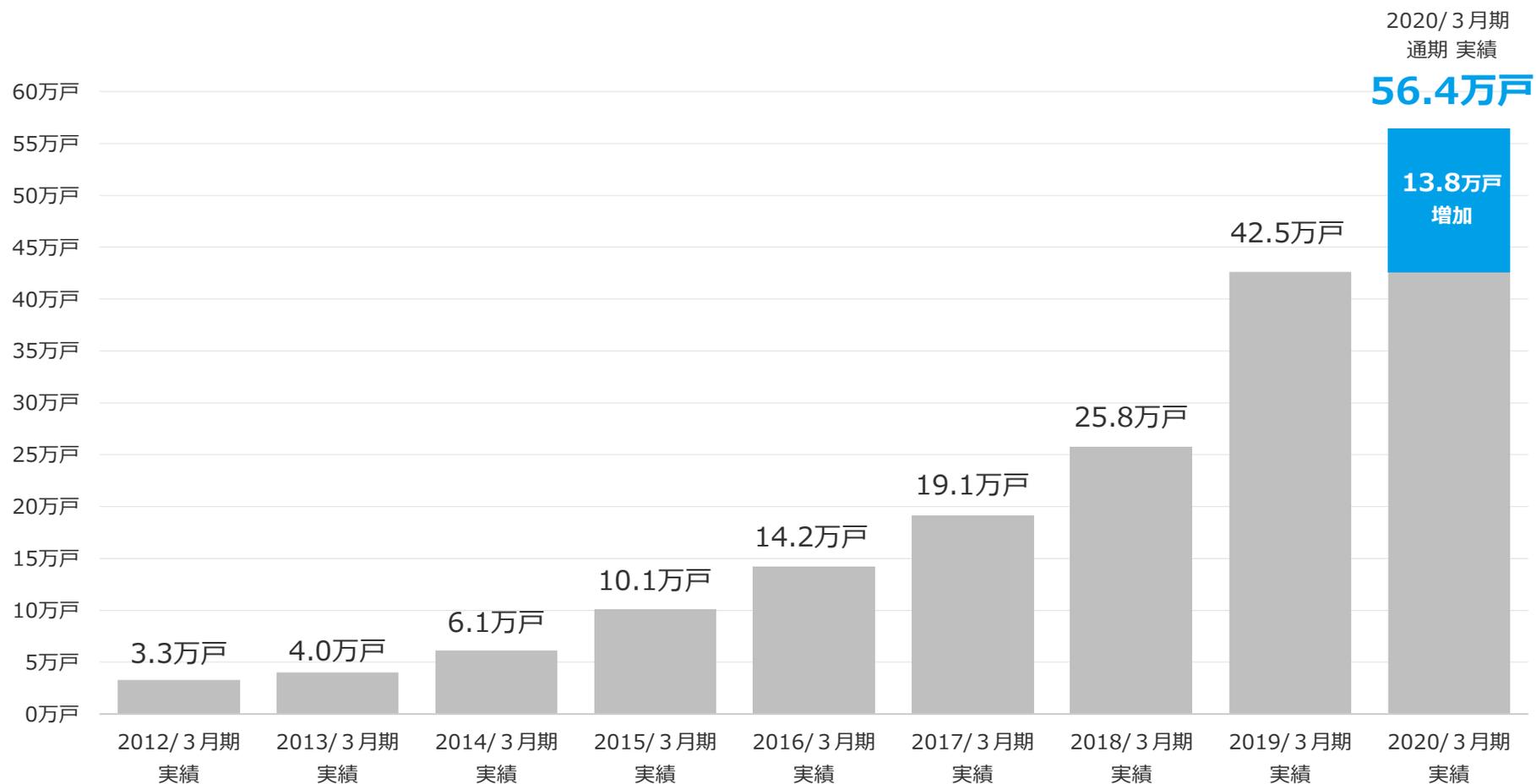
### セグメント損益前期比差異分析

■ 売上高 ■ セグメント損益

- +765** GP売上増による粗利増
- △144** GP販管費増
- △425** 新規事業への先行投資等



## 「SPES」への期待感による導入先送り等の影響で計画比3.2万戸減もサービス提供戸数は、前期比13.8万戸増の56.4万戸を達成



## ユーザーニーズに応える新サービスを提供開始

「SPES」は、大東建託パートナーズ管理物件への「SPES」本格導入を4月より開始し、展開を加速。4月末より新サービス「PWINS」の販売開始。

2020年4月～

### 大東建託パートナーズ管理物件への「SPES」本格導入開始

ギガプライズと大東建託社のグループ会社、大東建託パートナーズ社は、世界初ISPサービス「SPES」を2020年4月より同社が管理する全国の物件に対し本格導入を開始

**SPES**  
Single-Pair Ethernet Service



2020年4月末より販売開始

### 世界初 集合住宅向けISP新サービス「PWINS」を新たに開発

「PWINS」は従来の壁埋め込み式Wi-Fiアクセスポイントから、Wi-Fi通信を行う無線ユニットを分けて脱着式にすることで、ハードウェア交換時にかかる入居者との日程調整等の時間的コスト、またそれらの調整を行う管理会社等の設備投資費用等を大幅に縮小することを可能にしました

**PWINS**



## 前期比 売上高5.3%増、セグメント損益16.3%減

戦略ドメインへの先行投資（人件費・システム開発費）により減益

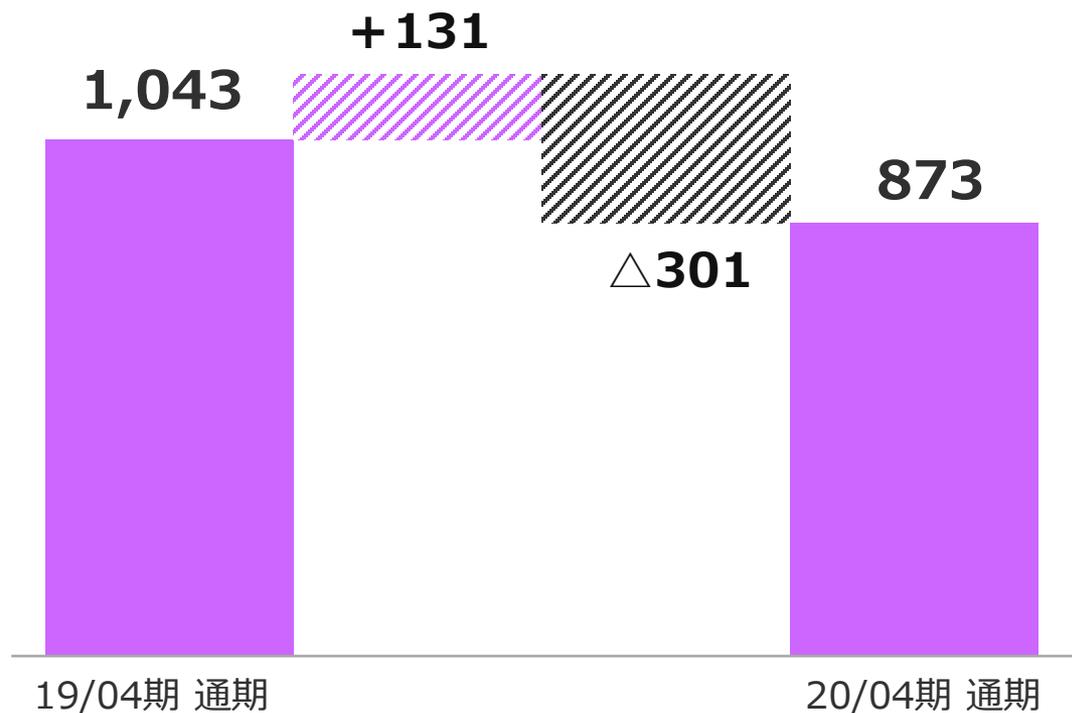
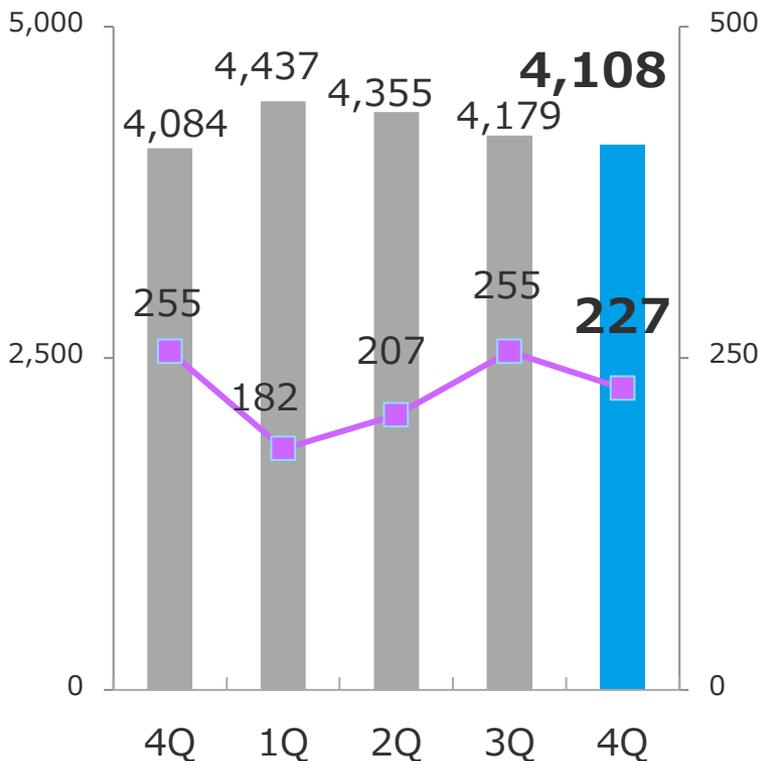
(単位：百万円)

### 売上高・セグメント損益

### セグメント損益前期比差異分析

■ 売上高 ■ セグメント損益

**+131** FSG売上増加に伴う粗利増等  
**△301** FSG人件費及び業務委託費増等



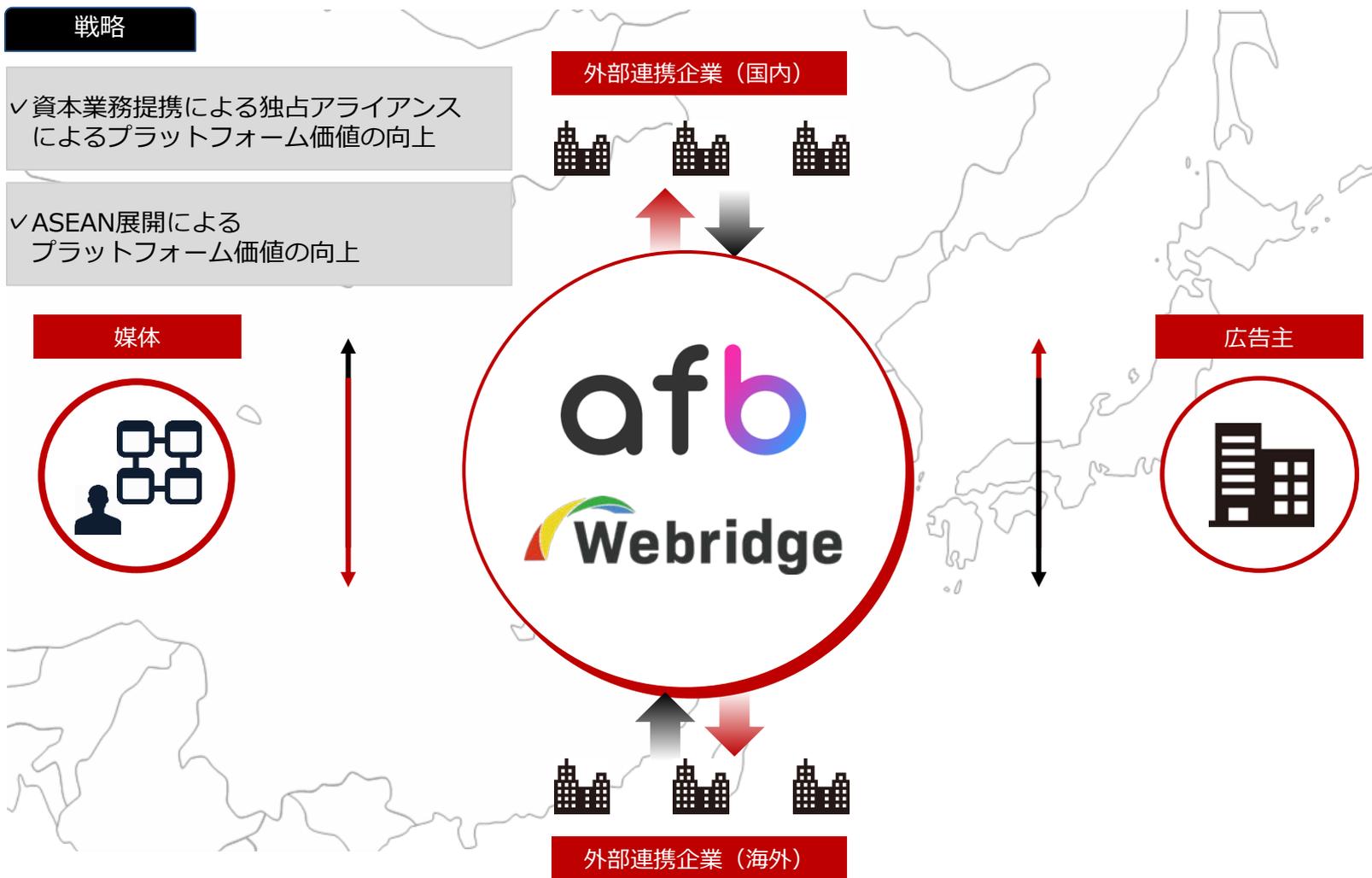
# アドテク事業進捗

外部サービスやグループアセットとの積極的連携に加えて、海外展開ニーズの対応により、プラットフォーム価値の差別化・向上を実現

## 戦略

✓資本業務提携による独占アライアンスによるプラットフォーム価値の向上

✓ASEAN展開によるプラットフォーム価値の向上



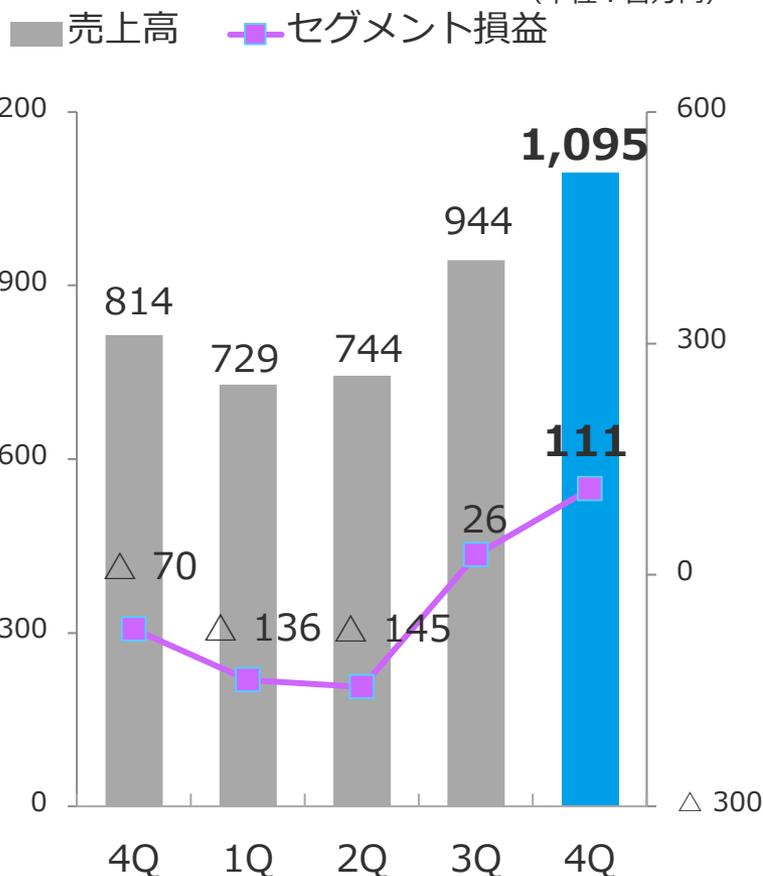
## FBEPHの成長により売上高は前期比17.4%増を達成

FBEPHの順調な事業進捗により、セグメント損益は3Q-4Q会計期間で黒字を達成

(単位：百万円)

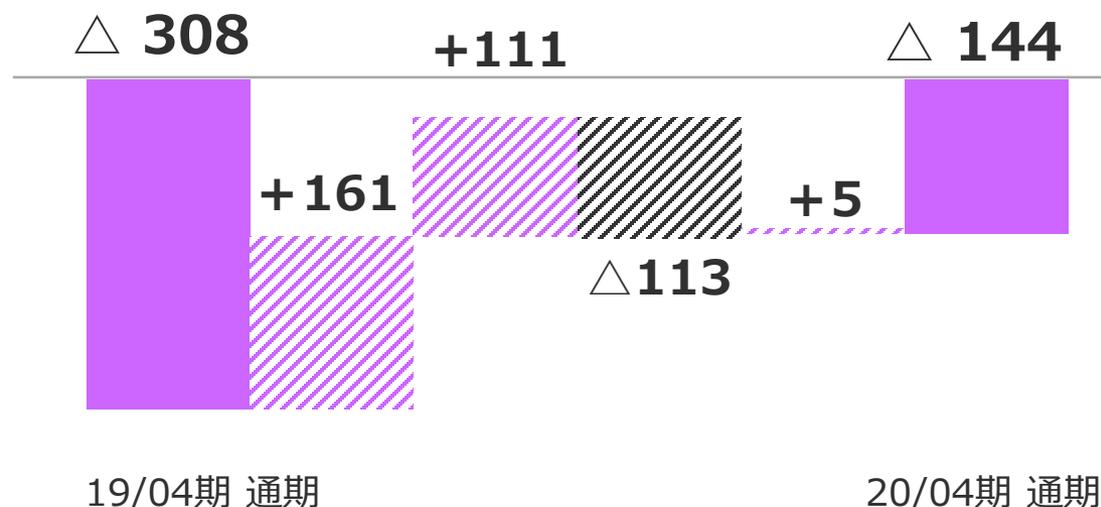
### 売上高・セグメント損益

(単位：百万円)



### セグメント損益前期比差異分析

- +161 FBEPHG売上増に伴う利益増
- +111 不採算事業の整理による利益改善
- △113 FBヘルステック事業売上減及び販管費増等
- +5 その他



## 月間薬局予約件数は順調に推移



薬局 & ドラッグストア検索・予約サイト

### くすりの窓口コンテンツ

処方箋  
ネット受付



おくすり  
宅配予約



くすりの窓口  
クーポン



ジェネリック  
検索



### ファーマシーサポートの6つの機能

予約管理



お薬手帳  
管理



顧客管理



決済機能



経営支援



みんなの  
お薬箱



### 月間薬局予約件数



Pharmacy  
Support

■ 薬局予約件数



## 「EPARKお薬手帳」は累計ダウンロード数126万件を突破



アプリから  
調剤予約

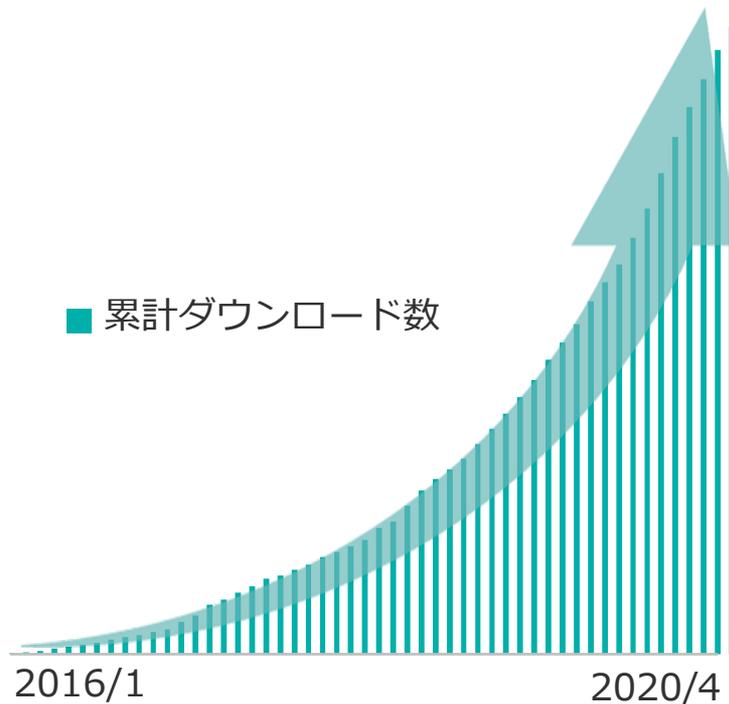
## EPARKお薬手帳



### EPARKお薬手帳累計ダウンロード数

126万超

■ 累計ダウンロード数



調剤薬局で  
待たずに  
受け取り

家族の薬も  
まとめて  
管理

お薬情報を  
いつでも  
みられる

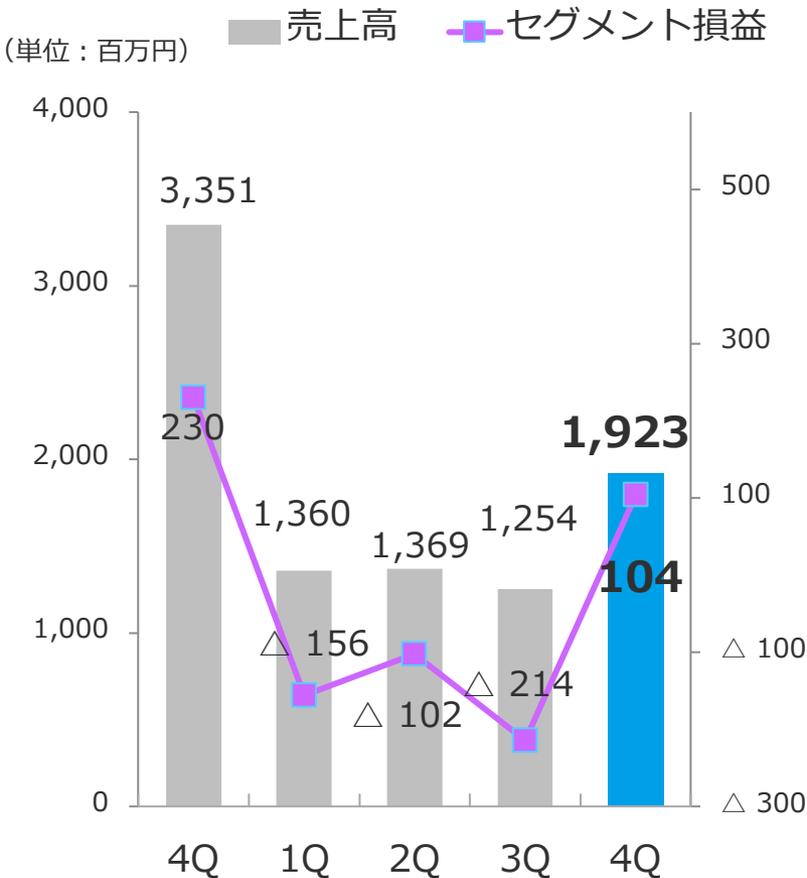
## デジタル領域への事業転換に向けて先行投資を実施

新型コロナウイルス感染症の拡大により、第4四半期に見込んでいた売上が急減

※2019年4月期は、アルクの決算期変更に伴い4Qに11月～4月までの6カ月分を計上

(単位：百万円)

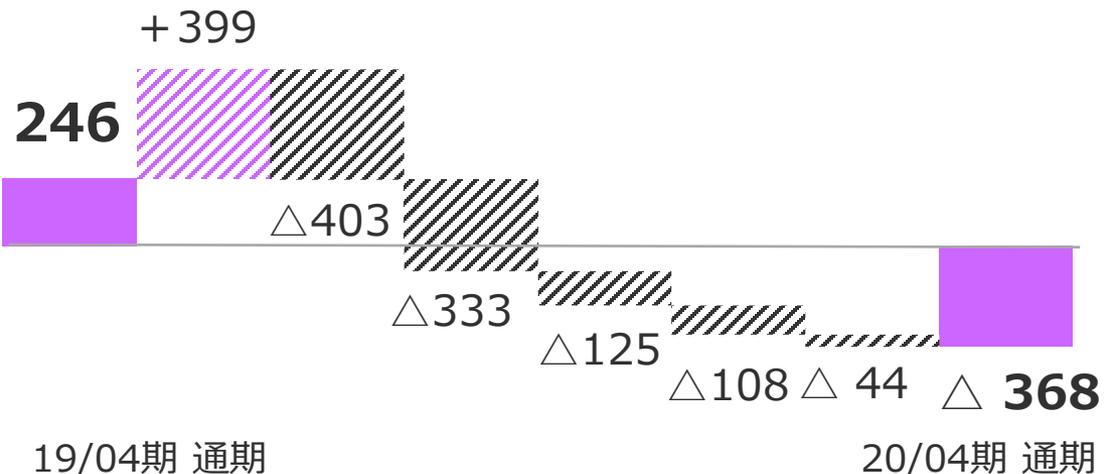
### 売上高・セグメント損益



### セグメント損益前年同期比差異分析

- +399** アルク売上増に伴う粗利増
- △403** アルク人件費等増
- △333** アルクその他販管費増
- △125** アルク広告宣伝費増
- △108** のれん償却額増
- △44** その他

※エドテック事業については、前期（9カ月取り込み）との比較を行っているため、上記にはその影響額を含みます



### 3. 新型コロナウイルス感染症の影響

---

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔み申し上げますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます

## ■当社グループへの影響について

新型コロナウイルス感染症が経済活動及び経済環境に及ぼす影響については、現時点でその範囲と期間を見通すことが困難なため、当社グループの事業に与える影響について引き続き慎重に精査を進めており、開示すべき事項が明らかになった時点で速やかに公表いたします。

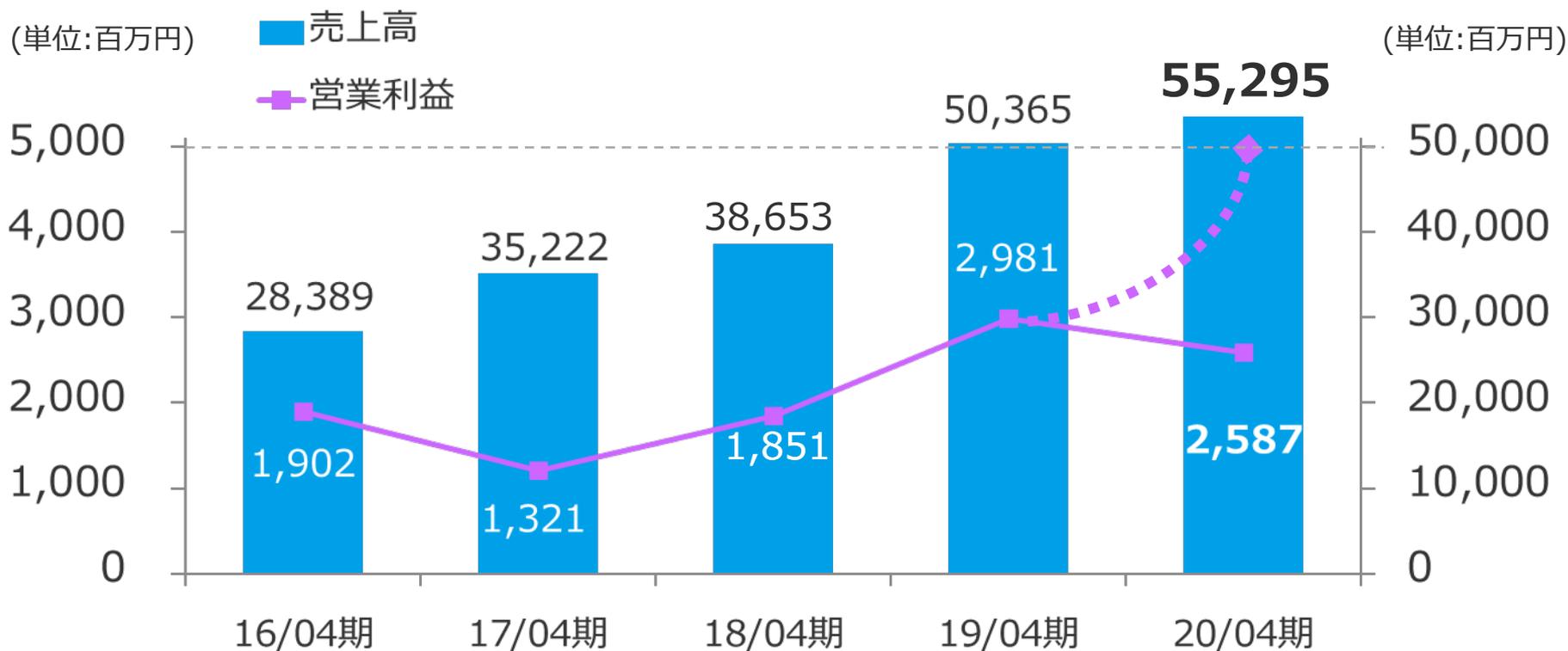
## ■当社グループの対応について

お客様、お取引先、従業員及びその家族の健康に配慮し、感染抑制及び感染拡大の防止に努めております。就業を原則テレワークとしていることはじめ、不要不急の外出・出張・会食の抑制、大人数での会議の自粛やテレビ会議の活用などの対策を講じています。

## 4. 中期事業方針『SiLK VISION 2020』総括

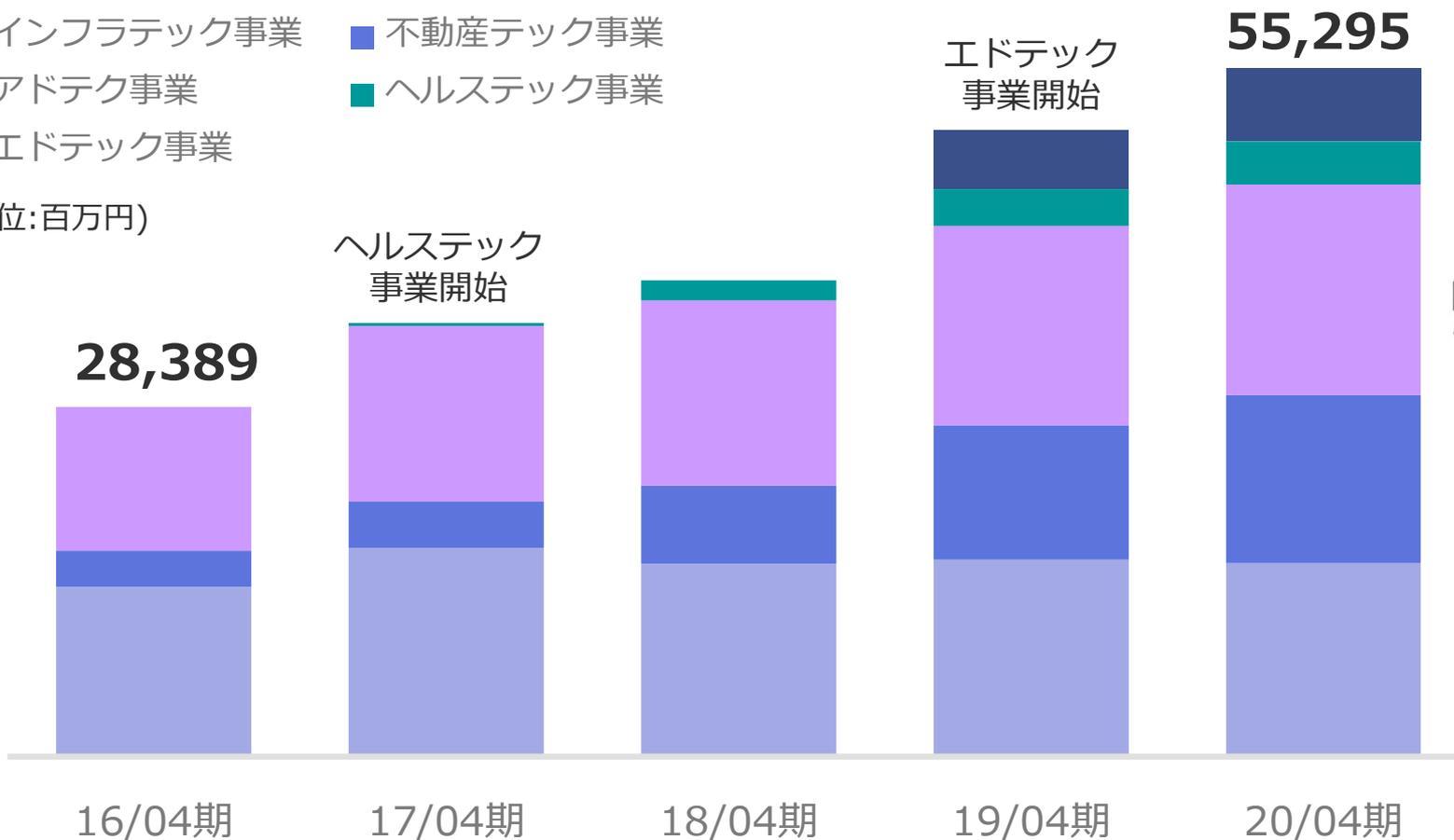
---

## フリービットグループ 2020年4月期業績目標 連結売上高**500億円**・連結営業利益**50億円**企業を目指す



- インフラテック事業
- 不動産テック事業
- アドテック事業
- ヘルステック事業
- エドテック事業

(単位:百万円)



## 成長領域に注力した新分野への進出と継続的発展

既存の「モバイル」「アドテクノロジー」領域の成長に加え、  
新規事業を有する「生活革命」に関連する「Health Tech」「IoT」  
「不動産Tech」に注力した中長期の事業拡大

### モバイル



### アドテック



### 生活革命

#### IoT



毎日、発明する会社

アルプスアルパイン  
株式会社と包括的提携

#### 不動産Tech



「LiveSmart」  
IoTプラットフォーム



「どこでも  
住宅展示場™」

#### Health Tech



E PARK ヘルスケア



毎日、発明する会社



#### EdTech



## 5. 2021年4月期 連結業績予想

---

## ■ 代表取締役の異動（2020年5月1日付）

氏名	新役職名	旧役職名
石田 宏樹	代表取締役社長CEO兼CTO	代表取締役会長
田中 伸明	取締役会長	代表取締役社長

## ■ 代表取締役社長CEO兼CTOの略歴

氏名	略歴
石田 宏樹	2000年 5月 当社設立、代表取締役社長 CEO
	2004年 7月 当社代表取締役会長 CEO
	2005年 7月 当社代表取締役社長 CEO
	2015年 1月 トーンモバイル(株) (現TMC(株)) 代表取締役社長 CEO
	2015年 2月 当社代表取締役会長 (現任)
	2015年 4月 カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)取締役 CIO兼CSO
	2016年 4月 カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)常務取締役 CIO兼CSO

(単位：百万円)	2021年4月期 通期予想	2020年4月期 通期実績	前期比
売上高	<b>54,000</b>	55,295	△2.3%
営業利益	<b>1,900</b>	2,587	△26.6%
経常利益	<b>1,700</b>	2,481	△31.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	△ <b>200</b>	△619	+419百万円

当社グループが、中期事業方針『SiLK VISION 2020』において獲得した「インフラ」と「プラットフォーム」の両ポートフォリオをwithコロナの「新常态」時代に合わせ最適化すると共に、人的リソース・技術リソース・保有データなどを最大限に有効活用していくグループの一体的運営を目指した大規模な構造改革を行なっていく所存で、それら関連のコストなどを織り込んでおります。

\*アドテク事業においては、業界全体としてコロナの影響を見極めるのにもう少し時間がかかる見込みであるため、今後数値が変化する可能性があります。今後、業績に与える影響が判明した場合には、速やかに開示いたします。

\*新中期経営計画『SiLK VISION 2023』 骨子 2020年8月発表予定

本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

＜IR及び本資料に関するお問い合わせ＞

フリービット株式会社  
グループ経営管理本部 IR担当  
Email [freebit-ir@freebit.net](mailto:freebit-ir@freebit.net)  
WEB <https://freebit.com/>



毎日、発明する会社

※ すべてのブランド、製品名、会社名、商標、サービスマークは各社に権利が帰属します。